

もみじ福祉会 ニュース

がんばるうや

2011年9月 第59号

発行/社会福祉法人 もみじ福祉会



第一もみじ作業所(生介) 第二もみじ作業所(生介)
 第三もみじ作業所(就移・就継B) 福祉ホーム 夢トピア
 ケアホーム つばさ/たんぽぽ/夢トピア/ドリームハウス
 もみじヘルパーステーション夢トピア
 障害者生活支援センター めーぶる
 放課後対策事業 のびのび/わくわく

〒730-0823 広島市中区吉島西2-1-24
 TEL.082-243-0331 FAX.082-243-0497
 HP:fukushi-momiji.or.jp

もみじ福祉会の目指すもの(竹子)

私たちは、障害者も含めた地域で生活するすべての人たちが、文化的で平和な環境の下、自らの心と身体、そして人生の主人公として暮らせるための総合的な権利保障を目指し、以下の事に取り組みます。

1. 仲間(利用者)の生きる力の充実と生活の質の向上を目指します。
2. 地域の生活と福祉の向上への貢献を目指します。
3. 事業の民主的な運営と地域の諸団体との協力・共同を大切にします。
4. これらの実践の要となる、職員の、障害や発達障害、福祉や障害者運動についての専門性の向上につとめます。

おためしください 『いねいね工房』のあじ

西区観音新町
3-9-13



みんなの夢のせて もみじのお店オープン!

もみじ福祉会の新しい作業所「第三もみじ作業所」に念願のお店が四月二十日にオープンしました! 仲間の夢と願いをのせて始まったお店の名前は『いねいね工房』です。

お店では、もみじ作業所おなじみの「クッキー」「ケーキ」をはじめパン職人が仲間とともに力を合わせて作る「本格石窯パン」、そして配食グループからは「地産地消米」を使った「お



焼きたてパンがずら〜り



集中して切りこみ入れてます



おいしいピザパンにな〜れ

にぎり」の販売も始めました。さをり織りや印刷販売グループのオリジナルTシャツなど自制作商品の販売コーナーもあります。新商品のパンの中でも特に好評いただいているのが「ホップス食パン」、こだわりの材料と製法で丁寧に作られたしつとり食感の食パンはお客様の反響も上々です。またシナモンを混ぜたマーブル食パンは、仲間がこねており、マーブル模様が一本一本違ってももしろいパンです。徐々に地域の皆さんにもお店のことを知っていただき、お子様連れ

喫茶スペースゆづり

のお客様がキャラクターパンを買って行かれる姿はお店の雰囲気をも和ませてくれています。



おにぎりの種類も豊富!!



もみじ自主製品販売コーナー



なじみのお客さま

お詫び

当初の開店時間を六月より十時〜十七時(月曜日・金曜日)に変更させていただきました。お客様にはご迷惑をおかけしますが、今後もより良い商品作りを心がけ、一層、努力・精進していきたく思っています。仲間・職員一同心からお客様の来店をお待ちしています!

平和Tシャツを世界に



人だかりの販売ブース

今年も八月六日にグリーンアリーナにて原水爆禁止世界大会が開

催されました。世界各地から平和への願いを集める大会、印刷販売グループではもう七年続けて出展参加をしています。今春に平和4Tシャツの色違いを作り、夏には平和クリアアイルも完成。沢山の人の自分たちの平和への思いを伝えるために企画・販売をしています。当日はたくさんの方がブースへ寄って下さって、Tシャツも二十一枚売れました。中にはもちろん外国の方も。平和3Tシャツをデザインした伊藤さんも(現在は一般就労されています)手伝いに来てくれて、一緒に記念撮影をするお客さんも...。こんなに同じ思いを持っている人がいるのだと感激し、ますます私たちの仕事の意味を考え、機会になりました。

是非是非平和Tシャツかつてくださーいね!(平和Tシャツ色...:ブラック・あずき・緑・ピンク 各二五〇〇円 *売り上げの一部は原爆ドーム保存のために寄付をさせていただきます。)



にあつてる? 平和Tシャツ

夢フェスティバル

2011年11月6日(日)

11:00~15:00

場所:観音新町第一公園・夢トピア・ドリームハウス

- ピアノ等
太鼓演奏 ステージ! 喫茶
- フリーマーケット 遊びのコーナー
焼きそば うどん たこ焼き
- 秋の味覚さつまいもスティック 等 出店多数



きてね~

仲間たちの声

がんばるこ

失敗もするけど、がんばりたい!

パンに塗る照りだし塗りが難しいけど頑張りたい!

マーブル食パンの生地が難しい。

生地を手でこねて丸めるのが難しい。

材料の計量をしっかりとやっていきたい。いつかは自分の店を持ちたいと思って頑張っています。

もみじの新事業 おいしい配食 始めました!



▲ スイッチを入れて、よし!

第三もみじ作業所の新事業として注目されているのが「配食事業」です。地域と「食」を通じて交流を深めていこうというコンセプトのもとに事業展開しています。

野菜を多く使い利用者の方の健康を願って、手作りのおかずを詰め込んだ配食弁当は大変ご好評いただいています。6月より本格スタートしたばかりですが、おかげさまで沢山の問い合わせと定期的にご利用いただいている事業所様もあり、お弁当を作る仲間の表情にも「おいしい物を作るんだ!」という使命感にあふれた思いがにじみ出ています。イベント等への弁当の配達もやっています。是非ご利用下さい!!

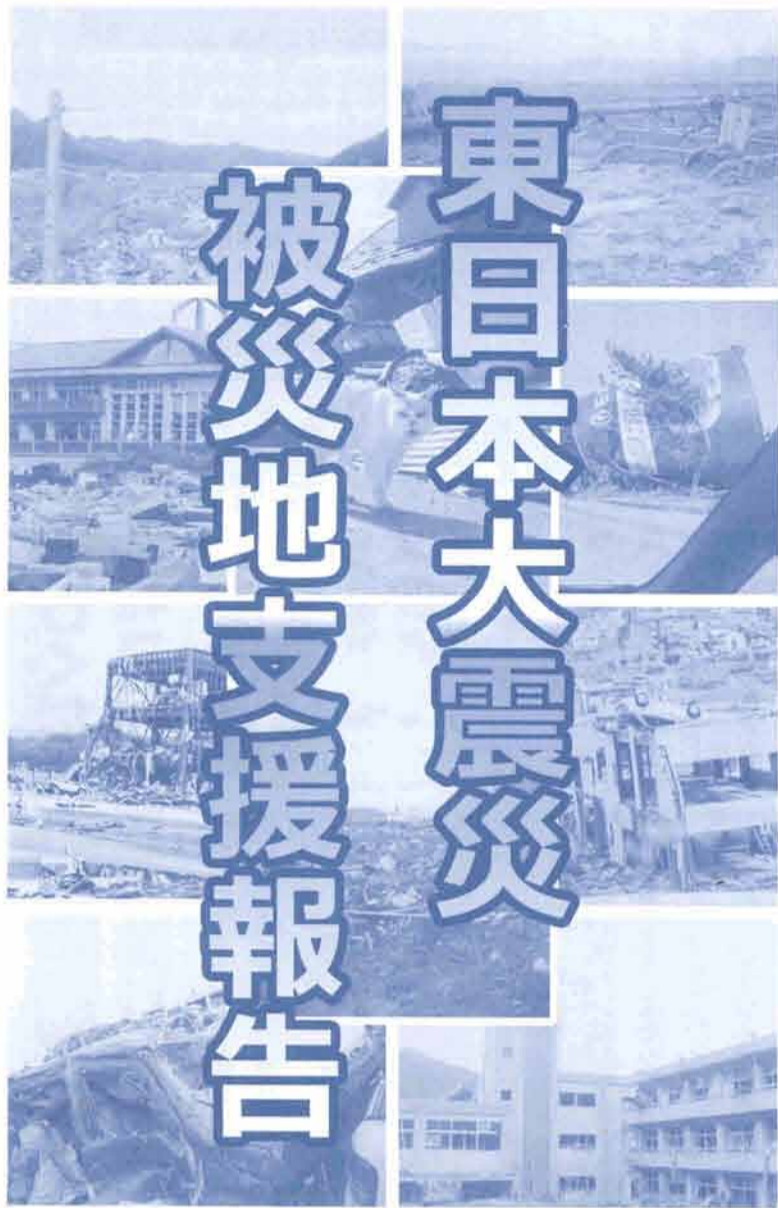


▲ きれいに盛りつけるぞ!



▲ 洗い物もがんばってま〜す。

「こねこね工房もみじ」(お店・配食) 広島市西区観音新町3丁目9-3
お問い合わせ先 ☎082-291-1121



東日本大震災 被災地支援報告

被災地支援に参加して

宮城県南三陸町

坂田 健

初めてこのような光景を目の当たりにする私にとっては、衝撃が大きく何か虚無感のようなものを感しました。その南三陸町

今回の震災支援はJDF(日本障害フォーラム)が中心となって設置した福島県・宮城県現地支援センターに、JDFに加盟する団体からたくさんの支援員が派遣されて実施されています。JDFは、2004年に「第2次アジア太平洋障害者の10年」の推進と障害者権利条約の成立を求めて発足し、現在13の障害者団体で構成しています。きょうされんは、JD(日本障害者協議会)の加盟団体の一員として参加しています。3月末から始まった支援も5ヶ月目に入り、6月までの支援期間が9月まで延期されました。当初の物資支援中心からこころのケアの支援をはじめ、専門性が問われる支援へと支援内容も変化してきています。

生きてつつお...
JDF被災地がい者
支援センターふくしま
4月20日〜26日
古川 大介

三月十三日(日)正午、ようやくつながった電話での父の第一声。被災し、すべて津波で流されたらしい。それでも「生きています」という事実がその場にへたりこんでしまった。

郡山市にあるJDF被災地障がい者支援センターふくしまの支援員として福島県に行けることになった。都合で自分の実家に帰る事が出来ず、他県であっても被災地で何かできるならぜひ、地元でもできないはがゆさを埋め合わせるような気持ちもあつたかもしれない。十三時間三十分かけて車で現地へ向かう。原発事故の影響もあり重々しい雰囲気なのかな、と勝手に思っていたがそんなことはなくマスクをしている人も数える程度だった。郡山市の事務局から福島県内各地へ移動。広い体育館での避難生活を余儀なくされ



支援センター支援員のみなさん

二回に渡って宮城県の登米市にあるJDF宮城北部センターに入りまし。現地では事務局長を担い、直接支援に入ることは少なかったのですが、現地の障害のある人や復興に向けて頑張っている職員や関係者、そして全国から参加してきた支援員の皆さんから、たくさんの元氣と優しさをもらいました。

復興も仲間の
願いを大切に
JDF宮城北部センター
6月3日〜12日
7月20日〜29日
井上 一成

一回目は、被災地を視察して、あまりの被害の大きさに愕然とし、声も出ないほどでした。被災された作業所のH所長さんから、海抜十八メートルの小さい丘の上に立つ作業所にまさか津波が来るなんて誰も予想しなかったこと、とっさに周りにいる利用者の手をとって中庭に避難



災害ボランティアセンター

したが、残念ながら一人死亡で一人行方不明となったことへの無念さ、また、震災後一軒一軒利用者の家を訪問して安否確認をされたり、その時の利用者からの早く作業所を再開してほしいという声に、一日も早い再開を目指して取り組まれたことなどのお話を聞き、所長として一人の人間として、あるべき姿に感動しました。たくさんエピソードを聞くにつれて、励ま

2011年度きょうされん
安居楽業セミナー
＜5＞
2011年7月15〜16日
(名古屋港湾会館)

安居楽業に参加して

基調報告では、東日本大震災の話もあり、個人情報保護の壁という内容が強く印象に残っています。災害時要援護者名簿と

それに加え、被災した人たちの「強さ」を感じた。悲しみはまだ乗り越えられていないかもしれないけれど、乗り越えようとしている姿や何とかしてこうと活動している人たちはみんな強かった。そんな人たちを支えるたくさんの支援者が必要だと現地に行き改めて感じた。傾聴ボランティアや心理士やワーカーなど心のケアをする人たちが今以上に必要になってくる

最後の別れの場面でメンバーさんに「広島に帰ってもがんばってください」と言われた。何だか複雑な思いがした。広島での生活を頑張つて、今、頑張っている人に言われた。その時広島に帰つても、東北の復興の力になれるようにがんばろう、支えようと思つた。継続した支援が必要でその期間はとても長くなると思う。少しでも早くみんなが普通の毎日に戻れるように力になりたい。

ふれ合うことの大切さ
JDFみやぎ支援センター
5月16日〜20日(五日間)
岡田 敬子



記念樹を植える

きょうされん
広島県支部
新任研修
2011年6月25〜26日
(グリーンヒル郷原)

新任研修に
行ってきました

六月二十五日〜二十六日の二日間、きょうされん新任研修に参加してきました。もみじ作業所に入職して約三ヶ月。ようやく仕事に慣れてきた反面、日々の振り返りで考えさせられることがたくさんありました。今回の研修には、他の作業所の入職間もない職員さんが参加されること。いろんな話が聞けるのではないかと思います。個人的にも楽しみにしていました。

(大迫 由貴)

研修報告

22x22x21h



草抜きの様子

今回、東日本大震災被災地支援員として、私は宮城県南三陸町へ行って来ました。実際に見た南三陸町の光景は生々しく、写真で見た原爆投下後の広島

の仮設の「のぞみ作業所」というところでお手伝いをさせて頂きました。のぞみ作業所は津波にのまれてしまい、仲間一人が死亡、一人が行方不明という状況でした。元の作業所が全壊状態の為、急遽そこに通っている仲間の方の実家の空き地を借りてプレハブ小屋を建て、作業所として運営されていきました。現在主にこの前にある雑草地を仲間の方と一緒に開墾し、野菜を植えた



のぞみ作業所のみなさん

対に復興するであろう希望の光を感じました。不安の中、今できる事を精一杯やっけて生きていく被災地の人達に対して私たちが出来る事は、いっぱいあると思います。何でも良いので、とにかくやろうと思えました。



早く普通の生活が戻りますように

帰った被災地支援でした。1か月後の2回目の視察では、被災地の復旧は確実に進んでいました。瓦礫の中に入りこんだ花が咲いているのに感激したという支援員の言葉に、震災に合われた人の思いに寄り添える感性の大切さを感じました。自然に生かされている人間がその自然の営みを大切にしたい復興に力を入れていくことの大切さに気付かされました。

私たちの支援はまだ始まったばかり
今後も引き続き
被災地支援を行っていきたく思います
(もみじ福祉会)

高柳 友美

2012もみじカレンダー

今年のテーマは『日本を元気にしよう!』です

～みなさまに笑顔が届きますように～



11月発売予定!

予約も承ります!

もみじ作業所内印刷・販売グループ



「もみじ作業所」と共に

石井 君子さん 野田夏代子さん



「もみじ作業所」創立三十周年おめでとうございます。私たち親子(娘と私)が初めてもみじ作業所を訪れたのは、昭和五十六年の初秋でした。まだ出来たばかりの作業所は無認可の本場に小さな作業所で、小内町に寄った幼稚園の片隅に、みんなが

聞いた時は、正直とても無謀な感じがし、夢のような話だと思っていました。それが多くの人の愛情に支えられて、吉島に素晴らしい作業所が出来た時は嬉しい感動と驚きでした。毎年行われるバザーとそのお手伝いは楽しいものです。最初の頃は古着のコーナーを担当していました。今はおもに古本や百円コーナーを手伝っています。時々、思わぬ拾いものがあったりして、隠れた宝物を探すような楽しみがあります。是非、夏祭りには「百円コーナー」でお宝を探してみたいです。

こと教えてくれました。作業所と出会って、たくさん楽しい思い出と出会いがありました。グループホームや夢トピアの設立など、どんな夢を叶えてゆく作業所に、時々戸惑いながら、常に前進していく姿は「念ずれば花開く」と言う言葉そのものであり、これからも、どんな夢を叶えて成長して行く作業所であるように願っています。

- 5月
 - 3日 フラワーフェスティバル出店(～5日)
 - 7日 新入職員研修①
 - 8日 広島市障害者路上職技大会参加/広島県母親大会出店
 - 9日 労使定期協議
 - 10日 ふれあいプラザ当番日
 - 11日 きょうとさん虹の会総会参加
 - 12日 自治会ひまわり会総会
 - 14日 東日本大震災支援職員派遣②/きょうとさん県支部総会参加
 - 15日 ビア観音祭り出店
 - 16日 IGLより実習開始
 - 18日 福保ジャパン販売/NPOセンターより見学来所
 - 20日 家族会5月例会
 - 21日 もみじ福祉会内部監査/新入職員研修②
 - 22日 おりづる祭りステージ参加/出店/三世代ふれあい祭り出店
 - 23日 舟入小学校見学来所①
 - 24日 舟入小学校見学来所②
 - 25日 舟入小学校見学来所③/きょうとさん全国総会参加
 - 26日 舟入小学校見学来所④/きょうとさん全国総会行動参加
 - 28日 東日本大震災支援職員派遣③
 - 29日 広障連総会参加
 - 30日 もみじ福祉会第50回評議員会・第88回理事会/刑務官研修来所
 - 31日 江波中学校職場体験実習来所(～6月2日)

- 7月
 - 4日 県立特別支援学校より実習(～6日)
 - 6日 もみじミニミニバザール
 - 13日 福保ジャパン販売
 - 19日 台風6号により仲間はお休み
 - 20日 ふれあいプラザ当番
 - 14日 舟入小学校との交流会
 - 15日 家族会7月例会
 - 20日 ふれあいプラザ当番/東日本大震災支援職員派遣⑤
 - 22日 吉島学区民協よりボランティア交流来所
 - 26日 市役所販売
 - 23日 なかよし保育園バザー出店
 - 27日 広島駅前バザー
 - 28日 広島国際大より見学来所
 - 28日 きょうとさん虹の会平和学習会参加
 - 30日 クラブ活動②
 - 30日 日本母親大会ステージ出演&バザー

- 6月
 - 1日 ミニミニバザール(フレスタ)/庚午中学校職場体験実習来所(～2日)
 - 2日 東日本大震災支援職員派遣④
 - 8日 文教女子大より実習(～23日)
 - 9日 第一第二作業所避難訓練
 - 13日 IGLより実習(～25日)
 - 14日 吉島小学校見学来所①
 - 15日 吉島小学校見学来所②/中島小学校より町探検見学来所
 - 16日 吉島小学校見学来所③/中島小学校より町探検見学来所
 - 17日 第一第二作業所社会見学(ちゅーピーパーク)
 - 18日 家族会6月例会
 - 18日 もみじ福祉会後援会総会
 - 19日 東日本大震災支援職員派遣⑤
 - 22日 知的障害者生活自立訓練事業開所式
 - 23日 クラブ活動①
 - 24日 広島駅前バザー
 - 26日 エソール広島バザー
 - 27日 市立特別支援学校より実習来所(7月1日)
 - 28日 もみじ作業所まつり実行委員会①
 - 30日 吉島小学校との交流会

- 8月
 - 2日 合同海水浴
 - 5日 生協ビースアクション出店
 - 6日 原水禁世界大会出店
 - 7日 吉島西町内会夏祭り参加/出店/観音町内会夏祭り参加/出店
 - 8日 中島地区社協・飯倉炊きさんフェスタ出店
 - 9日 刑務官研修来所
 - 9日 ふれあいプラザ当番
 - 13日 全館害虫駆除作業/もみじ作業所夏期休暇(～16日)
 - 19日 家族会例会
 - 20日 きょうとさん虹の会ピヤガーデン
 - 22日 国際大学実習開始(8月26日修了)
 - 25日 クラブ活動③
 - 26日 利用者検診(第一・第二作業所・採血)
 - 27日 Y.M.C.A.保育園出店
 - 28日 中区こども祭り出店
 - 29日 南特別支援学校より実習(～30日)
 - 30日 職町中学校職場体験実習(～9月1日)

行事日誌

というのが現在二割ほどしか作成されておらず、個人情報保護がされているため、今回のような災害が起きた際、障がい者の方の安否確認が非常に困難とのことでした。次に、「安心できる暮らし」という内容の講義がありました。その中で、住む場所は住む主体者自身も一緒に考え、住みやすい環境を考えていく必要があると言われていました。障がい者や高齢者のみならず、今回は被災者の方たちにも繋がった内容でした。私たち自身も同じなのだと気付かされました。本日は、何を必要として、どんなことがあっても疑われることはなく、地域との繋がりがとても強いとのことでした。迷惑をかけたらすぐに謝るなど基本的なことがとても大切だと言われていました。やはり地域の方たちとの繋がりを強くするには、挨拶や地域行事への参加の中で、施設の仕事を知ってもらい、障がいについての理解をしてもらうことがとても大切なことだと学びました。そうすることで、互いの信頼関係を築き、助け合いながら安心して暮らしていけるのだと感じました。(高柳 友美)

シリーズ

障害者自立支援法 支援法廃止、新法づくりへいよいよ大詰め!

その15

二〇〇九年九月、民主党への政権交代後、長妻厚労大臣が障害者自立支援法の廃止を明言。同法に代わる新法づくりにむけて二〇一〇年四月「障がい者制度改革推進会議」のもとに「総合福祉部会」が設けられ、十三のテーマ別作業部会で検討開始して一年余り、本年六月二十三日の第十五回総合福祉部会会議にて議論の結果が報告されました。

これを基に、八月末には新法への「骨格提言」がとりまとめられ、九月以降は厚生労働省にて法案作成作業に入ります。予定では二〇一二年の通常国会に法案上程、二〇一三年八月までには施行となります。

○新法の「骨格提言案」出る
七月二十六日の第十六回総合福祉部会に提出された「骨格提言案」では、以下の九項目について提案されています。

① 『支給決定』では、現在実施されている障害程度区分に依らず本人の生活と意向を基本にしたサービス利用計画に依り、その地域での他の者との平等を基礎として必要な支給量が確保される、とするなど、その区分によってサービス利用が制限される障害程度区分の問題性を排除している。

② 『支援体系』では、地域生活が可能な支援体系とすべく、「介護保険との整合性」を意識した現行の「介護給付」や「訓練等給付」を廃止し、多くの基本的サービスを「全国共通の仕組みで提供される支援」として位置づけている。

③ 『利用者負担』では、障害に伴う必要な支援は無料とすべく、障害による生活困難を軽減する支援は、社会が責任を担うべきとしている。

④ 『報酬と人材確保』では、障害者自立支援法と報酬の劣悪さによってもたらされた職員の非正規化や支援の質の低下が指摘され、「基本方針」として、支援の質の低下、現場を萎縮させない報酬施策を、としている。

⑤ 『地域移行』では、「自ら選んだ住まいで安心して、自分らしい暮らしを実現すること」が地域移行とし、「すべての障害者が地域で暮らす権利をもつ」と述べている。そのため、国は地域移行促進を法に明記し、地域移行のプログラムと地域基盤整備計画からなる「地域基盤整備十カ年戦略(仮称)」の策定を法定化することとしている。

○新法に何を望むか
さあ、「私たち抜きに私たちのことを決めないで」という願いで検討されてきた推進会議(総合福祉部会)の提言を尊重した法案作成となるでしょうか。

総論として、厚生労働省からは、「財源問題で国民の理解が得られるか」、「客観性・透明性・公平性が担保できるか」、「他の法律・制度と整合性がとれない」、「国が規制することは困難」等々の否定的なコメントがなされています。それらは「想定内」ではありますが、その姿勢に残念さと失望を覚えます。

我々の望むのは、障害者が障害のない人と平等に生きられる生活水準であり、社会です。推進会議の議論の基礎となった障害者権利条約と、障害者自立支援法違反訴訟和解時の国(厚生労働省)と原告団との基本合意文書を再度確認しつつ進めてほしいと望みます。行き着くところは「財源問題」でしょうが、まずは諸外国に比して相当低い我が国の障害福祉の予算規模を、妥当な水準にして頂きたいと願います。

「利用者個別給付報酬」原則日払いと「事業運営報酬」原則月払い、(7)報酬の財政規模の増額、(8)契約制度のもとでも市町村の公的責任の明確化(9)利用者負担の増加につながらない、の三点が肝要としている。

「人材確保の基本的視点」では、人材確保こそが障害者地域生活実現の鍵とし、障害福祉の公的責任を障害者本人や家族に転嫁してはならないとする。

「福祉従事者の賃金における基本的方針と水準」では、誇りと展望をもつて働けるよう国家公務員の「福祉職給与表」と同等の年収水準が確保できる事業報酬とする、としている。

「地域移行」では、「自ら選んだ住まいで安心して、自分らしい暮らしを実現すること」が地域移行とし、「すべての障害者が地域で暮らす権利をもつ」と述べている。そのため、国は地域移行促進を法に明記し、地域移行のプログラムと地域基盤整備計画からなる「地域基盤整備十カ年戦略(仮称)」の策定を法定化することとしている。

「日中活動支援」では、移動支援(送迎)も支援の一環に位置づけ、報酬上の評価をすること、医療的ケアの必要な対象者のための看護師の送迎添乗にも言及している。

「グループホーム」支援では、先の居宅介護等の活用を可とするとともに、日中の支援が必要な場合の支援体制の確保等について措置を講じる、としている。

また、グループホームへの報酬改善のための予算確保、公営住宅の活用促進にも触れられており心強い。

「利用者負担」では、障害に伴う必要な支援は無料とすべく、障害による生活困難を軽減する支援は、社会が責任を担うべきとしている。

「報酬と人材確保」では、障害者自立支援法と報酬の劣悪さによってもたらされた職員の非正規化や支援の質の低下が指摘され、「基本方針」として、支援の質の低下、現場を萎縮させない報酬施策を、としている。

「報酬の支払い方式」では、日払い方式の弊害を避けるべく、

「利用者と事業者の連携」を促進するべく、

輝け! New Face

よろしくお祈りします!



水野美代子



伊折 亮

八月十一日より、第三もみじ作業所のパングループで、働かせてもらっています。初めての事ばかりで、慣れない事も多いと思いますが、仲間や職員と共に色々な体験を通して皆それぞれが、よりよい一日を過ごせるよう前進して行きたいと思っています。

七月十二日からもみじ作業所で働かせていただきます。福祉の仕事は初めてです。慣れないことばかりで、迷惑をおかけすることが多々あると思いますが、一日も早くお役に立てるよう精一杯がんばります。どうぞよろしくお祈りいたします。

新しいなごみ



竹内 勝彦

今年の6月に入りました。竹内勝彦と言います。今はクッキーグループの仲間と一緒にクッキーを作っています。今の時期は暑いけど頑張ってクッキーを作っています。よろしくお祈りいたします。



佐々木 洋子

私は5月から第3もみじ作業所こねこね工房でパン作りや店番をしています。私の名前は佐々木洋子です。いつも大藤さんに、パン作りを教わってもらっています。夢は大好きな人と一緒にパン屋さんになれたらいいです。このまもなく第3作業所のカラオケで98点でした。レパートリーは、西野カナと嵐とSMAPです。大好きなSMAPや嵐のコンサートに行きたいと思っています。



高山 正規

5月から入所した高山正規24歳です。以前は太陽の下でたくさんの野菜を作っていました。これからはピースグループでの仕事を頑張ろうと思います。優しい先生や仲間がたくさんいるので早く作業所に慣れていきたいです。よろしくお祈りいたします。



藤原 英則

6月より第三もみじ作業所の配食係でお世話になってる藤原英則と言います。初めての事ばかりなので、職員さんや仲間たちに、色々な事を教わりながら、頑張っています。仲間たちは皆さん明るく、僕自身、パワーをもらっています。今、一番に頑張りたい事は早く調理を覚えたい事です。また趣味の方ですが、DVDを見る事と音楽を聞く事、魚つりです。これからは頑張りたいので、皆さん、力を貸してください。よろしくお祈りいたします。

坂上ルミエ様
ヤマトナデシコ(匿名)様
吉田薬局カンパ箱様
吉島地区民生委員・児童委員協議会様
きょうされん県支部国会請願募金様
(2011年4月1日~7月31日まで)

- 後援会コーナー 2011年度後援会費を納入頂いている、個人・団体の皆様(敬称略)
- 深谷 恵子、坂本 忠衛、井藤 久仁子、宮崎 洋一、早川 雄一、井上 洋子、井上 佳代子、永井 郁江、古川 大介、古城 門淳子、沖本 光彦、上田 健司、岩尾 久美子、江川 正仁、泉 真理子、梶村 貴美子、中沢 道成、松末 和枝、三磯 本優子、細井 迪、栗栖 昭典、崎山 勝香、紅中 芳子、三宅 美代子、宮本 清水、日山 敏光、河内 喜代子、藤本 郁
 - 田坂 善治郎、滝沢 昭一、吉岡 俊二、佐々木 信江、久保田 辰男、長尾 夫佐、江島 勝美、高木 和彦、高木 久子、矢川 光則、坂下 寿子、泊 庄一、山近 恵子、中司 登志、池田 光、西岡 浩美、西野 千昭、面出 野、森脇 博彰、綿本 直美、横道 美子、柿本 雅枝、竹下 喜八、五島 一太郎、新谷 美樹、久米 朱美、浜本 靖子、河内 陽友、豊
 - 丸山 勝子、八田 勝子、坂井 田河内、田内 政子、片山 義弘、岡田 信子、佐々木 望月、望月 幸夫、田代 裕子、中川 里子、福田 治彦、向井 友江、早田 良子、草野 俊之、渡邊 貴弘、泉谷 悦子、野原 雅吉、村野 康生、宇野 淳子、澤田 葉子、原 章弘、高木 公士、高木 木村、木村 秋山、山田 真治、川尾 貞一
 - 栗田 朱美、川好 太郎、広木 美智子、三宅 和香、榎垣 俊忠、甲斐 切、佐倉 敏美、内藤 美亜子、森脇 圭司、三原 捷宏、八島 信夫、向台 教幸、木村 忠孝、佐々木 潤子、榎 美也子、藤谷 章子、井上 雅彦、井上 由緒、井上 靖明、湯谷 和香、加藤 美子、中野 次子、山岡 靖子、山田 電也子、竹本 工、原田 明雄、木村 英夫、堀江 元美、上田 正
 - 松浦 五郎、外輪 保弘、小松 源次郎、安森 博幸、小島 隆、清見 久美子、前浜 佳代子、新江 みどり、今福 優、勝田 郁恵、松本 久男、宮本 秀子、鈴木 千賀子、中山 絹子、感性 舎、広川 車両、谷本 小児科、久笠 法律事務所、桐原 器工業所、観音 新町町内会、なかよし 保育園、南 保険企画、ヒロシマ、森原 内科胃腸科、河井 建設工業株式会社、神崎 学区社会福祉協議会、日本共産党 広島市会議員団、吉島 学区社会福祉協議会、藤田 エン지니어リング、協働カンパニー ステップ、ひろしま インターネット 美術館、ひかり 協会職員労働組合 (大阪)、ひかり 協会職員労働組合 広島分会

平成22年度から23年度にかけ、各事業団から助成金を頂きました。車両など仲間の仕事、生活に欠かせない備品を購入、大いに活躍しています。この場を借りてお礼を申し上げます。

お店にも来てね! ヤマト福祉財団の助成を受け、今年の4月にオープンした第3もみじ作業所に「こねこね工房」に新しい車(写真)が届きました。クッキーやパンの配達、仲間の送迎にと大活躍です。車の全面や側面には可愛い食パンやフォークのイラストが、これは作業所の仲間によるデザインです。

外の仕事はきつけれど、楽になったよ~ リサイクルグループ同
みずほ財団より助成を受け、リサイクルグループが行っているアルミ缶つぶし作業場に暖房機と涼霧システムがつけました。高齢化が進み、外での作業がしんどくなっていく中、大変助かっています。

新しいバスになって、たくさん乗れるようになりました
年賀・郵便事業の助成を受け、もみじ作業所にて長い間送迎車両として活躍していたリフト付きマイクロバスを買い換えることができました。以前のバスよりも多い4台の車いすを固定することが出来、大いに役立っています。運転手さんがきれいにしてくれるおかげでいつもピカピカです。毎日乗る仲間も気持ちよく乗れて好評です。